



教職員向け研修

一緒に語ろう！

「大学のダイバーシティ配慮 ～セクシャルマイノリティの視点から～」

2017.3.10 (金) 10:30～12:00

@ 合同講義棟 3 F 第6講義室

セクシャルマイノリティ・LGBTという用語が知られるようになってきました。一方で、言葉が一人歩きし、セクシャリティに悩む学生へのサポートや、カミングアウトした後の当事者の不安に応える重要性は十分に語られていません。一昨年、国立大学の法科大学院生が同級生に同性愛者であることをアウティング(暴露)され、その後、学内の相談機関に心身の不調を訴え転落死するという悲劇がありました。このような悲劇を二度と起こさないために高等教育機関として何ができるのでしょうか。

男女共同参画推進室では、当事者の若者を講師に招き、少人数で語り合う場を設けました。当日はセクシャリティを手がかりに、学生への対応、大学機関に求められること、ハラスメントとしてのアウティング対策の必要性などをお話いただき、セクシャリティのみならず、ジェンダー、障がい、国籍、人種や民族など、属性を問わず全ての学生・教職員の多様性が活きる環境づくりのきっかけにしたいと考えています。

◆ **講師：村上 貴大 氏**

(LGBTスピーカーズネットワーク、HIVと人権・情報センター)

大学生になってから性の多様性やエイズの啓発ボランティアに関わる。現在はエイズに対する啓発活動と社会的な偏見を克服することを目標としたHIVと人権・情報センターで活動。

性に対して悩みがある人の電話相談や、性に対する正しい知識を伝える講演活動を中学・高校を中心に年間約40校実施している。その経験からゲイの当事者としてLGBTをテーマとした講演活動も行っている。

主催／申込先：京都府立大学 男女共同参画推進室 (京都政策研究センター内)

☎ 075-703-5143 E-mail danjo@kpu.ac.jp

